

# お知らせ



大成校舎の文化祭である『大成祭』を10月28日(土)に開催します。地域のイベントが徐々に再開される中、大成祭も4年ぶりに一般公開して開催することになりました。午前中は体育館で各クラスや有志によるステージ発表と文化部の作品展示、午後から正

面駐車場でクラス・育友会の模擬店を実施する予定です。また、恒例のネット壁画の展示も予定しており、現在制作が進んでいます。各学年が1クラスになって初めて制限なしで迎える大成祭。準備や運営への影響が想定されますが、成功に向け生徒・職員が一丸と

## 大成祭

10月28日(土)  
開催

なって取り組んでいきます。

詳細は学校ホームページに案内を掲載する予定ですので、見学を希望される方はご確認ください。多くの方々のご来場をお待ちしています。

## 女子硬式野球部

令和6年4月創部



少子化やスポーツの多様化を背景に競技人口が減少傾向にある野球ですが、近年女子野球が大きな盛り上がりを見せています。高校に限っても競技人口はこの8年間で倍増し、夏の全国大会では決勝戦が甲子園で行われテレビ中継されるなど注目度も高まっています。

県内においては、昨年女子学童による県代表チームが全国優勝を果たすなどの活躍が話題に上る一方、県内の高校に女子硬式野球部がないため、競技を諦めたり県外の高校に進

学したりするなど課題が指摘されていました。県内高校における女子硬式野球部の設立は、競技に取り組む子どもたちやその保護者、関係者にとって大きな願いであり、こうした要望は本校にも届いていました。

こうした声に応えるため、海南高等学校は教職員、県教育委員会、地域等と協議の上、来年4月に女子硬式野球部を創部することを決定しました。現在、活動の本拠を大成校舎グラウンドにおき、大成校舎をはじめ、美里

分校、海南校舎の生徒が活動に参加できるよう準備を進めています。

大成校舎では生徒数の減少に伴い体育部の数が少なくなっており、女子硬式野球部の設立は学校の新たな特色になると考えています。

女子硬式野球部の創部にあたり、学校と地域が一体となって、女子硬式野球部の発展と大成校舎・美里分校両校の特色化・魅力化に取り組んでいきたいと考えています。

## 大成晩成

2023  
1学期号

海南高等学校大成校舎  
マンスリータイムズ

しばらく休刊していた大成校舎の広報紙「マンスリータイムズ」を、紙面をリニューアルして再開します。タイトルは『大成晩成』。前身である大成高校の校名の由来となった老子の言葉に「自分のペースで持てる力を伸ばし、将来地域で活躍する大きな人間に育てほしい」という想いを込めました。

今後は大成校舎の行事や取組だけでなく、教育活動を通して見えてくる学校・地域の特色や課題を発信していきたいと考えています。第1号は「1学期号」として、春からの大成校舎の様子をお伝えします。





# 学校行事

## 4.10 令和5年度 着任式・新任式・始業式

4月10日(月)、始業式に先立ち、新しく大成校舎に着任・転入された先生方の着任式・新任式が行われました。

教頭に海南高校美里分校から 西林 崇 先生が着任し、きのかわ支援学校から保健体育科の中浦 節江 先生、貴志川高校から図書館司

書の 石戸 喜美 先生が転入されました。先生方からひとり一人ご挨拶をいただいた後、生徒会長の新谷優美さんが歓迎の挨拶を行いました。

着任式・新任式に続いて1学期の始業式が行われ、大成校舎の新年度が始まりました。

## 4.11 令和5年度 入学式

4月11日(火)、春らしい陽光が降り注ぐ中、令和5年度大成校舎入学式が挙行されました。川久保校長から男子14名、女子9名、計23名の生徒の入学が許可され、新入生代表の榎本龍二さんが宣誓を行いました。

式辞の中で川久保校長は、将来訪れる幾多

の選択の場面において、自信を持って決断するための確固たる判断基準を持つことが大切だと述べました。そして、大成校舎の学びの中でさまざまな学習や経験を積み重ね、その基盤を築いてほしいと新入生にエールを贈りました。

## 4.12 対面式

4月12日(水)、生徒会執行部による新入生と在校生の対面式が行われました。

ひとり一人の名前を読み上げて新入生を紹介した後、執行部がパワーポイントを使って大成校舎の学校生活を説明しました。

生徒会副会長の岩見聖澄さんが「大成校舎ではボランティア活動が盛んに行われていて、

地域の人たちと触れあえることはとてもいい体験になります。高校生活が充実するよう楽しみましょう」と歓迎の言葉を述べると、新入生代表の山本幸輝さんが「勉強や学校行事、クラブ活動に一生懸命取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いします」と応えました。

## 4.26 学部分野別進路ガイダンス

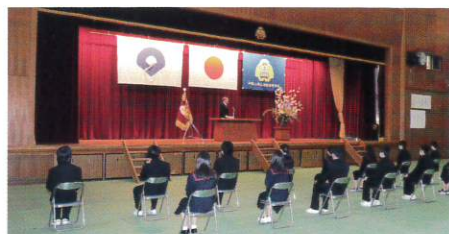
4月26日(水)、2年生を対象に進路指導部主催の学部分野別進路ガイダンスが行われました。(株)さんぼう様の協力のもと、多くの短大、専門学校等に参加をいただきました。

生徒は各自興味・関心のある分野に分かれ、

専門分野ならではの実習や体験をさせていただきました。高校の授業にはない専門的な知識や技術に触れ、それぞれの職業や学校での学びについて理解を深めることができ、自分の進路を考えるよい機会になりました。

【協力校等】

和歌山信愛女子短期大学 阪和鳳自動車工業専門学校 ミス・パリ エステティック専門学校 大原医療福祉製菓専門学校梅田校 大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校 和歌山YMCA 国際福祉専門学校 ナンバペット美容学院 日高看護専門学校 和歌山医療スポーツ専門学校 和歌山県立和歌山産業技術専門学校 (株)さんぼう



## 4.28 春の美化活動・健脚遠足

昨年に続き、春の美化活動・健脚遠足を4月28日(金)に実施し、大成校舎から「のかみふれあい公園」を往復する全行程12kmを全校生徒・職員で歩きました。

当日は天候に恵まれ気持ちよい空気の中、

ゴミを回収しながら目的地を目指していると道中で地域の方々が声をかけてくれました。

ふれあい公園に到着すると、友達と昼食をとったり、広場で野球やサッカーを楽しんだり、隣接する動物愛護センターで動物と触れ

合ったりするなど、思い思いに過ごしました。

新年度に入って慌ただしい毎日が続いていたので、クラスや学年を跨いでの交流を深めることができ、充実した1日となりました。



## 5.1 新入生歓迎球技大会

ゴールデンウィーク最中の5月1日(月)、本校体育館で新入生歓迎球技大会を開催しました。競技は男女別クラス総当たりでドッジボールを行い勝敗を競いました。

1年生は新しい環境の中で緊張する日々が

続いていましたが、この日は上級生相手に勝負を挑み、ゲームを楽しんでいる様子でした。

試合結果は3年男子と2年女子が優勝を果たし、上級生が貫禄を見せつけて大会を終えました。



## 5.19 県総体壮行会

5月19日(金)本校体育館で、6月初旬から始まる県高校総体に参加する生徒の壮行会を行いました。全校生徒を前にバドミントン部、硬式テニス部、陸上部の代表生徒が抱負を話した後、生徒会副会長の岩見聖澄さんが選手達に激励の言葉を贈りました。

## 6.7 コース・科目選択予備調査

6月7日(水)、1・2年生を対象にコース・科目選択予備調査が行われました。調査に先立って1年生は2年次で分かれるI型・II型のコースと選択科目について、2年生は3年次での選択科目について各担当教員から説明を受けました。今後、自分の興味・関心や進路希望をもとに、9月の最終調査に向けて検討していきます。

## 7.7 生徒総会

7月7日(金)、各クラスの代議員と生徒会執行部が多目的教室に集まり生徒総会を開催しました。生徒会会費や学校への要望事項、今年度の文化祭について協議を行いました。要望事項については後日、新谷生徒会長から教頭先生に要望書が手渡されました。



## その他の取組

- 4月19日(水): 禁煙教育(1年生対象 協力: 海南保健所)
- 6月7日(水): 思春期講座(2・3年生対象 協力: 海南保健所)
- 7月19日(水): 朝のあいさつ運動(生徒会執行部・海南警察署・紀美野町青少年センター)

# 大成校舎 図書館



大成校舎図書館は、地域に開かれた図書館として一般にも開放しており、地域の方に利用していただいています。学校図書館を一般開放することは珍しく、県立高校ではあまり例を見ません。

大成校舎の図書館開放の歴史は古く、大成高校時代の平成11年から地域に書籍の貸し出しを行っていました。高校再編の中で地域の支援を受けて大成校舎として存続することが決まったことから、地域とともにある学校として図書館を開放し現在にいたります。

現在は地域の方に図書館をご利用いただく他、きみのこども園とは園児への絵本の貸し出しや高校生によるよみかせなどで交流を行っています。

大成校舎図書館には司書が常駐し、調査・研究に必要な資料や本の紹介、和歌山県立図書館の本の取り寄せなどのサービスを行っています。また、SNSを用いた情報発信も行っていますので、一度大成校舎に足をお運びいただいて図書館をご活用いただければと思います。

## Open 利用時間

### 開館時間

午前9時～午後5時

### 休館日

土・日・祝日

学校授業日に開館します。校内行事や授業で図書館を利用する場合は臨時に休館になります。あらかじめ電話等でお確かめのうえご利用ください。



www.instagram.com/kainantaisei\_lib/



## 紀美野“彩”発見

大成校舎の1年生は、総合的な探究の時間「ヒューマン・ライフ」の中で、紀美野町の歴史や文化、環境などを学び、地域への理解を深めています。

この取組を『紀美野“彩”発見』と呼び、地域で活動する人材や有識者による講演、自

然や歴史・文化施設を訪ねるフィールドワークなど、地域の教育資源を活かした体験的・探究的な学習を通じて、社会性や地域の中で生きる力を身につけます。

1学期は5月に「生石山の大草原保存会」の丸谷榮彦さんを招き、生石山に自生する希

少植物の話を、6月には大成校舎育友会会長の西田博昭さんに、学校が所在する野上谷と大成校舎（大成高校）のつながりについてお話ししていただきました。

地域の方から話を聞くことで、大成校舎を取り巻く自然や歴史を知ることができました。



## 大成校舎の特色ある取組

### 福祉・看護コース

大成校舎の教育課程は2年次進級時にⅠ型（進学・コンピュータコース）とⅡ型（福祉・看護コース）に分かれます。

Ⅱ型は福祉に関心を持つ生徒や看護師を目指す生徒が選択するコースで、福祉の専門科目を置き、思いやる気持ちと共感する心情を身につけ、技術と知識の習得を図ります。校内に実習施設を備え、現場で働く介護専門職員による実習を受けて介護職員初任者研修の資格取得を目指します。

介護職員初任者研修の資格取得をカリキュラムに持つ高校は数少なく、大成校舎の特色のひとつとなっています。高齢化が進む地域にあって、将来ここで学んだ生徒が地域を支える人材になることを期待しています。



### 6.5 - 6.27 介護実習特別授業

6月5日（月）から27日（火）までの間、地元介護老人福祉施設「やすらぎ園」から4名の介護士の方に来ていただき、2年Ⅱ型の

生徒が32時間の特別授業を受講しました。これは介護職員初任者研修課程を修了するために必要な授業で、毎年やすらぎ園の協力

により実施しているものです。介護資格取得を目指す生徒たちにとって、現職の介護士の指導はとても貴重な経験になりました。

